

平成27年度 予算のあらまし

5月に中央児童館が「夢と学びの科学体験館」としてリニューアルオープンし、子どもたちに科学の楽しさや宇宙のおもしろさを知る機会を創出します。刈谷市は夢と学びの科学体験館事業をはじめとして、次代を担う子どもたちの未来に夢と希望を与える様々な事業に取り組んでいきます。



「元気で幸せ」を実感できる まちづくりを目指して

市制施行65周年

— 歴史と未来が輝くまち かりや —

刈谷市長

竹中 良則

Yoshinori Takenaka

わが国の経済情勢は、「三本の矢」からなる経済政策（アベノミクス）が一定の成果をあげ、大企業を中心に業績の回復傾向が見られております。本市財政におきましても、自動車関連企業の業績回復を背景に市税収入がリーマンショック前の水準に戻りつつありますが、引き続き効率的な行政運営及び健全財政の堅持に努めてまいります。

こうした中、本市の平成27年度予算においては、市民生活の安心と安全を確保する施策を推進するとともに、次代を担う子どもたちのための次世代育成や教育に関する施策に重点を置き、夢と希望に満ちたまちを目指してまいります。

また、本年は市制施行65周年を迎える節目の年となります。「歴史と未来が輝くまち かりや」をキャッチフレーズとして事業、イベントを実施し、多くの市民の皆様に参加していただくことで、65周年を迎えられた喜びを分かち合うとともに、未来に向かって本市がより一層発展できるよう努めてまいります。

本市の行政運営に当たりましては、引き続き、第7次刈谷市総合計画に定められた施策を着実に推進するとともに、市民の皆様の方々の安心で安全な暮らしをお約束し、「元気で幸せ」を実感できるまちづくりを目指して、さまざまな取組を積極的に実施してまいります。

この冊子は、本市の各種施策や財政状況を分かりやすくまとめたものですので、活用していただければ幸いです。

目次

予算の規模	1	計画推進分野	10
当初予算額・市税の推移（一般会計）	1	市制施行65周年記念事業	11
一般会計の状況	2	主な財政指標の推移	11
都市環境分野	4	基金の状況	12
教育文化分野	6	市債の状況	12
福祉安全分野	8	市民1人当たりの予算（用途別）	13
産業振興分野	10	刈谷市の家計簿	13

予算の規模

一般会計の平成27年度当初予算額は、553億3,000万円で、前年度当初予算額と比較して6.9%の増となります。これは、老朽化に伴う保育園の建替え、幼稚園、小中学校の大規模改造などにより増額となるためです。

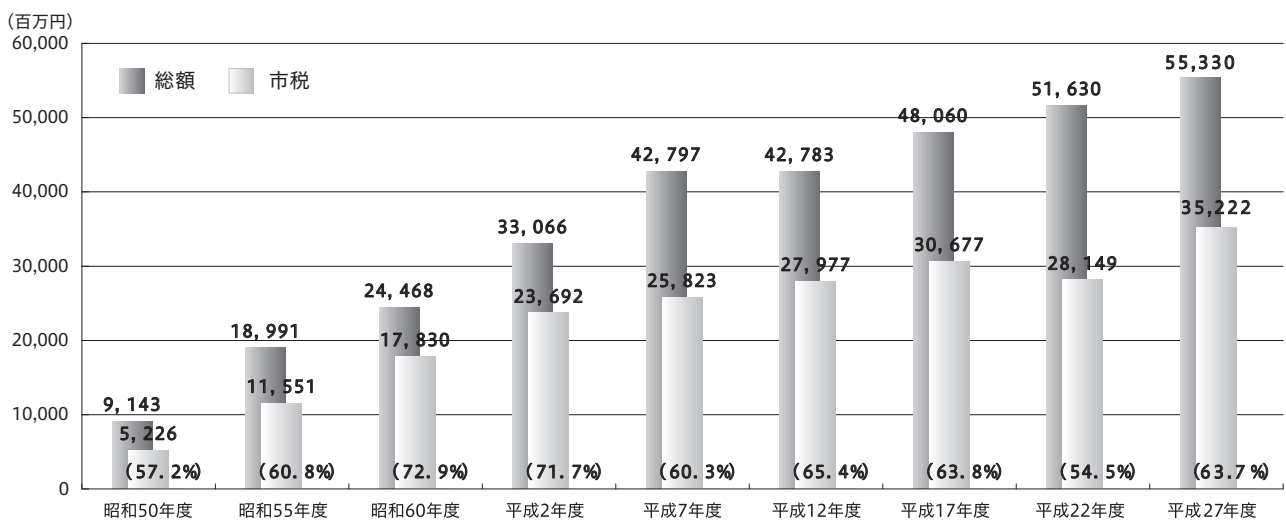
土地区画整理事業、下水道事業、国民健康保険など特別会計は、283億6,313万9千円で、前年度と比較して14.2%の増、企業会計の水道事業会計は、42億4,233万2千円で、前年度と比較して6.9%の増です。

一般会計、特別会計及び企業会計の総合計は、879億3,547万1千円となり、前年度と比較して9.2%の増となります。

(単位：千円、%)

会計名	平成27年度 当初予算額	平成26年度 当初予算額	前年度比	
			差引	伸率
一般会計	55,330,000	51,740,000	3,590,000	6.9
特別会計	28,363,139	24,847,012	3,516,127	14.2
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	317,884	329,642	△11,758	△3.6
刈谷野田北部土地区画整理事業会計	144,263	119,034	25,229	21.2
下水道事業会計	5,870,300	4,697,027	1,173,273	25.0
国民健康保険会計	13,589,673	11,656,427	1,933,246	16.6
後期高齢者医療会計	1,491,389	1,426,860	64,529	4.5
介護保険会計	6,949,630	6,618,022	331,608	5.0
企業会計	4,242,332	3,967,918	274,414	6.9
水道事業会計	4,242,332	3,967,918	274,414	6.9
合計	87,935,471	80,554,930	7,380,541	9.2

当初予算額・市税の推移（一般会計）



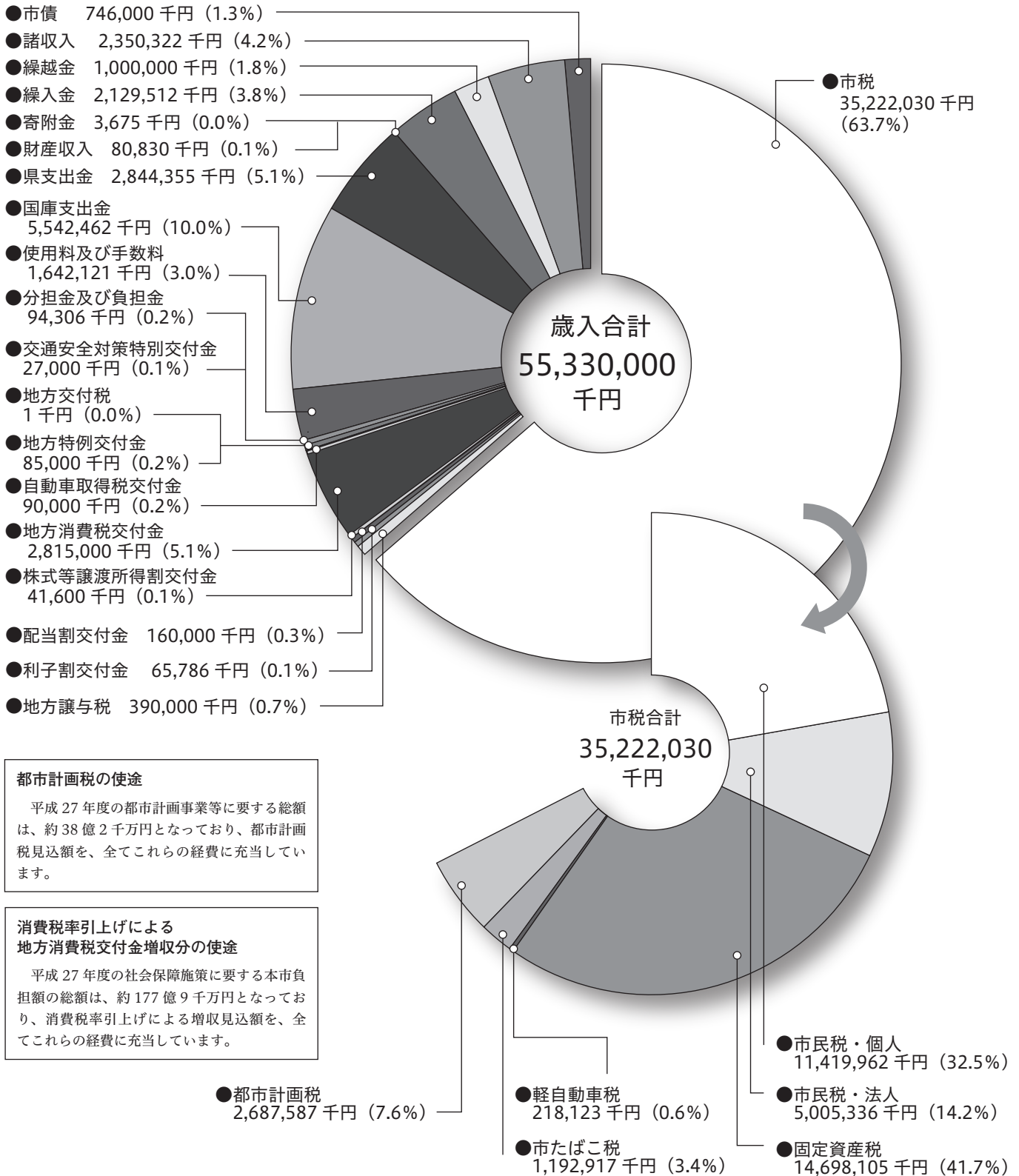
	昭和50年度	昭和55年度	昭和60年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度
人口 (4月1日現在)	94,182	104,615	110,643	118,267	124,625	131,140	139,994	145,245	148,589
世帯数 (4月1日現在)	31,115	34,601	36,949	40,922	44,761	48,569	54,659	60,140	62,304

※昭和50年度以降の5年毎の額を表記しています。
※平成27年度のみ1月1日現在の人口、世帯数です。

一般会計の状況

歳入

歳入の根幹である市税は、352億2,203万円で前年度当初予算額と比較して0.8%の増を見込んでいます。歳入全体に占める割合は、63.7%です。基金等からの繰入金21億2,951万2千円は、公共施設維持保全基金や財政調整基金などを活用しています。市債7億4,600万円は、さくら保育園園舎移転新築事業や幼稚園、小中学校の大規模改造事業の財源とします。



都市計画税の用途

平成27年度の都市計画事業等に要する総額は、約38億2千万円となっており、都市計画税見込額を、全てこれらの経費に充当しています。

消費税率引上げによる地方消費税交付金増収分の用途

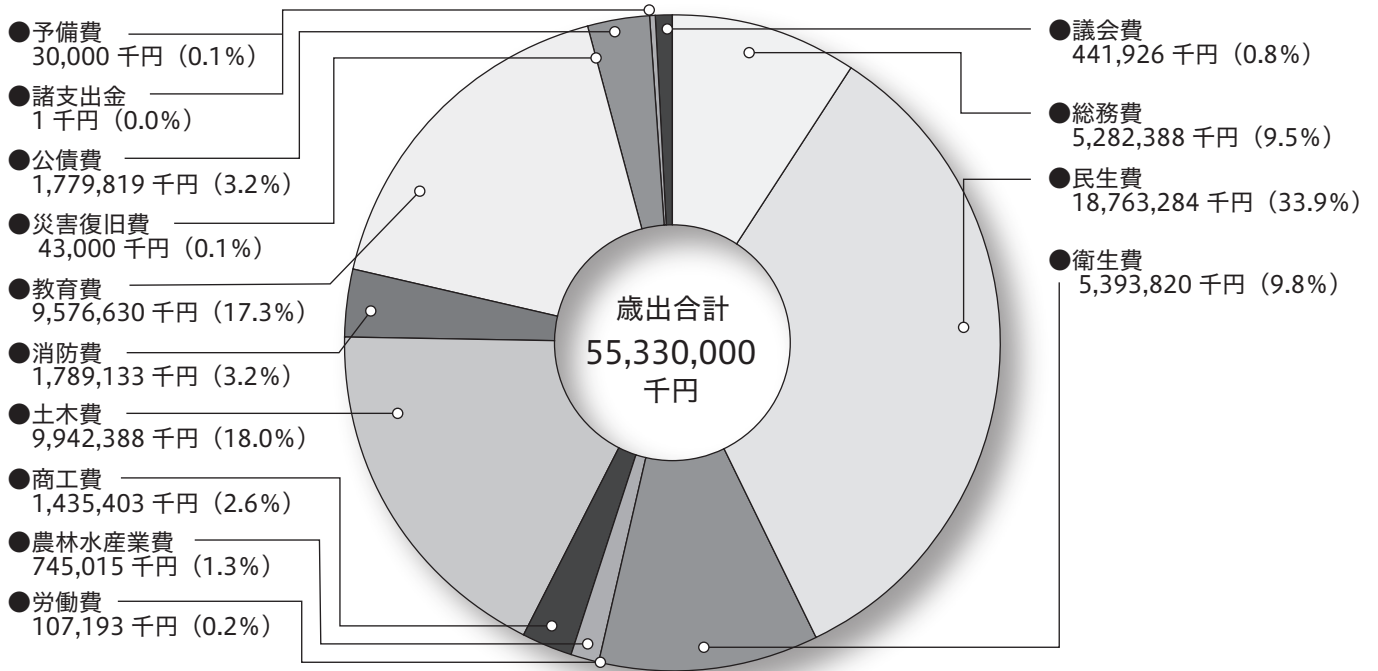
平成27年度の社会保障施策に要する本市負担額の総額は、約177億9千万円となっており、消費税率引上げによる増収見込額を、全てこれらの経費に充当しています。

歳出

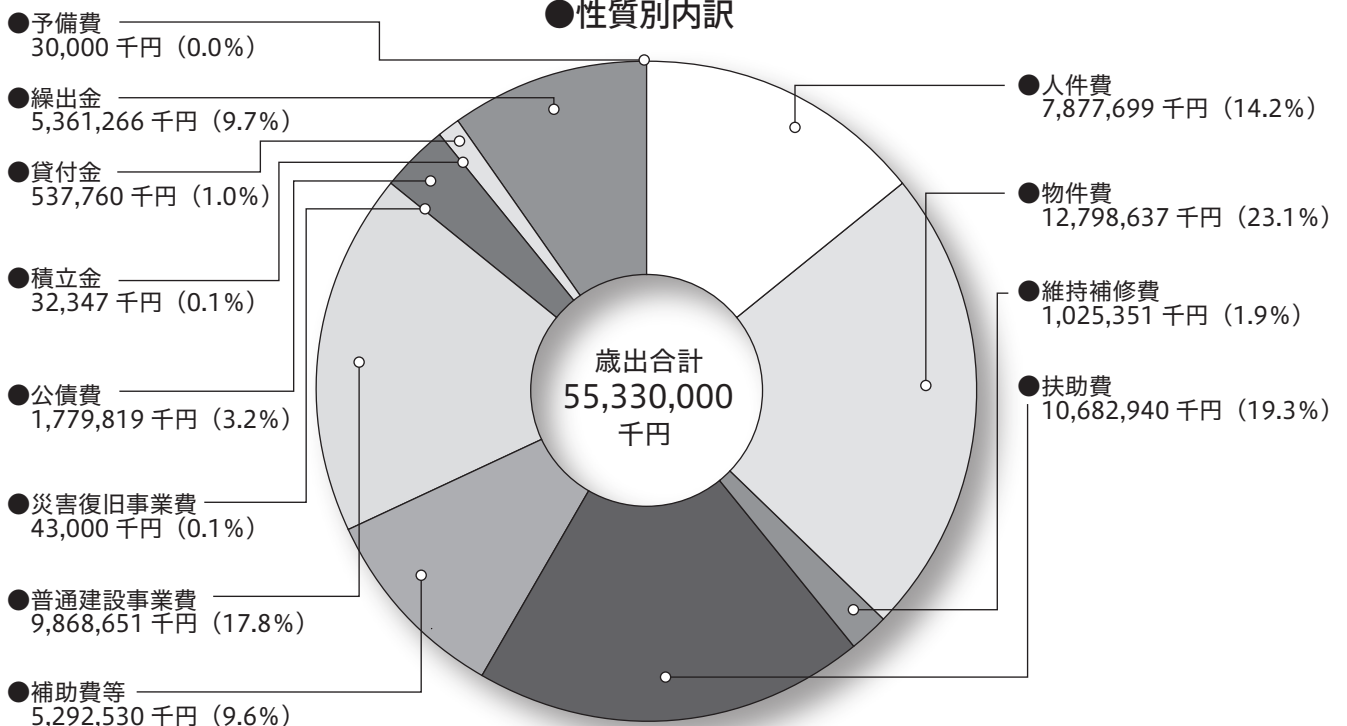
歳出の構成比で最も大きな割合を占めているのは、33.9%の民生費 187 億 6,328 万 4 千円です。その主なものは、児童手当支給事業や生活保護措置事業などです。次に、土木費 18.0%、99 億 4,238 万 8 千円です。そして教育費の 17.3%、95 億 7,663 万円と続きます。

なお、歳出に占める普通建設事業費などの投資的経費の割合は、17.9%です。

●目的別内訳



●性質別内訳



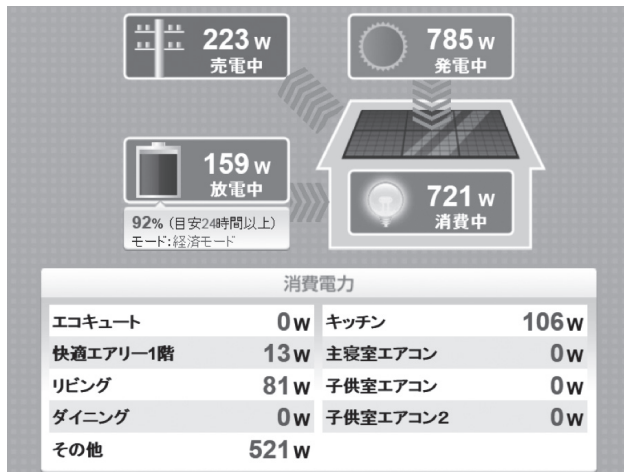
都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

新 住宅用エネルギー管理システム 設置費補助事業

2,000 千円

電力使用量の見える化及び節電のための機器制御を可能とする住宅用エネルギー管理システム（通称：HEMS（ヘムス））の設置費用の一部を補助します。

■補助額 上限 2 万円



拡 太陽光発電システム設備整備事業

275,972 千円

市内 11 箇所の避難所に、太陽光発電設備、蓄電池等を設置し、災害時の電力確保をすることで安心して避難できる環境を整えます。

■基本実施設計

南部生涯学習センター、一ツ木福祉センター、心身障害者福祉会館

■基本実施設計及び設置整備工事

子ども相談センター、東刈谷市民センター、富士松市民センター、小垣江市民センター、北部市民センター、産業振興センター、北部生涯学習センター

■設置整備工事

高齢者福祉センター



市道 2-496 号線他道路新設改良事業

216,212 千円

歩行者の安全と良好な住環境を確保するため、電線類を地中に埋設するとともに、道路の拡幅と歩道の設置工事を行います。

■道路新設改良工事及び電線類地中化工事

(1) 延長 160m

(2) 幅員 15m

■事業箇所 銀座ほか

駅前広場等整備事業

102,500 千円

みなくる広場の利用促進を図るため、ステージに屋根を設置し雨天時の利用も可能にします。

また、刈谷駅利用者の利便性の向上を図るため、刈谷駅のトイレを改修します。

■みなくる広場ステージ屋根設置工事

■刈谷駅トイレ改修工事



みなくる広場
ステージ屋根
(イメージ)

JR逢妻駅駅舎改修事業

87,466 千円

利用者の安全性や利便性の向上を図るため、エレベータや多目的トイレを設置します。

■雨水管移設工事

■駅舎改修工事

拡大市街地調査推進事業

7,400 千円

都市計画マスタープランに拡大市街地として位置付けられた地区において、住工混在地区の工場移転や新規産業立地のため、工業系新市街地を創出します。また、増加する人口の定住化を促進するため、住居系新市街地を創出します。

■拡大市街地事業化検討調査

(1) 依佐美地区 約 80ha (工業系、住居系新市街地)

(2) 小垣江町北部地区 約 55ha (住居系新市街地)

人と環境の共生する持続可能な低炭素社会や循環型社会の形成に配慮し、快適な都市空間の整備を進めることにより、生活の質を維持・向上させることをめざし、都市と自然が共存した魅力ある住みよいまちづくりを進めます。

野田新町公園整備事業

35,202 千円

地域住民の憩いと触れ合いの場を創出するため、野田新町駅の南側に公園を整備します。

- 街区公園整備工事
約 1,350㎡

亀城公園再整備事業

43,430 千円

亀城公園の魅力の向上と利用促進を図るため、刈谷の歴史文化に触れることのできる城址的な公園として再整備を行います。

- 現況測量及び土質調査
- 刈谷城発掘調査報告書作成
- 歴史的建造物基本設計



亀城公園（イメージ）

岩ヶ池公園整備事業

265,155 千円

公園利用者の利便性の向上を図るため、駐車場を拡張整備するとともに、授乳室を設置します。

- 駐車場拡張整備
- 授乳室実施設計

公園再整備事業

10,000 千円

開設から 20 年以上経過した公園の老朽化した施設を改修するとともに、誰もが安心して利用できるユニバーサルデザインに配慮した設備や施設への更新を行います。また、公園毎に植えられている植栽を活かしつつ、四季折々の花の咲く特色ある公園再整備を行います。

- 洲原公園再整備
(1) 現況測量
(2) 基本実施設計

総合運動公園駐車場再整備事業

60,455 千円

利用者の利便性の向上を図るため、駐車枠の引き直しや駐輪場の移設、ゲート設置など大規模な改修を行います。

- 第 1 駐車場再整備工事

吹戸池排水路整備事業

107,000 千円

一里山町の道路冠水の解消を図るため、雨水管を埋設し吹戸池に接続することで、効率的な雨水の排水を行います。

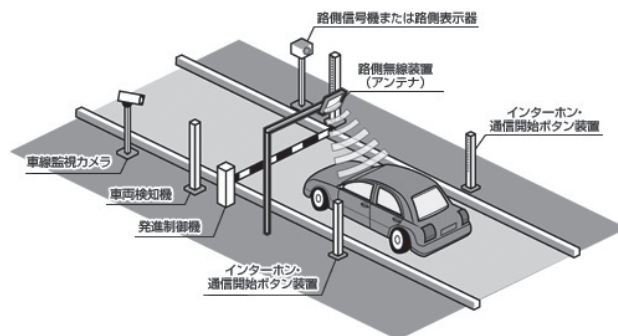
- 事業箇所 一里山町
- 排水路新設工事
(1) 工事延長 289m
(2) 管渠工 289m

都市交通計画調査推進事業

43,597 千円

ひとと環境にやさしく持続可能な都市交通体系構築のため、スマートインターチェンジ整備の検討、主要幹線道路の交通量調査、バスロケーションシステム導入に向けた検討などを行います。

- 幹線道路計画調査
(1) 刈谷駅南北連絡通路基本構想策定
(2) スマートインターチェンジ整備検討
- 大規模交通量調査
主要幹線道路における交通量調査
- 公共交通調査
バスロケーションシステム導入検討調査



スマート IC（イメージ）（国土交通省 HP より）

市営住宅長寿命化整備事業

71,827 千円

老朽化した市営下重原住宅の一部建替え及び耐震補強などの改修を行い、戸数を拡大します。

- 市営住宅改修実施設計

生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

新 夢と学びの科学体験館事業

66,061 千円

5月に中央児童館が夢と学びの科学体験館としてリニューアルオープンし、ものづくりの刈谷、理科教育の刈谷として、科学実験や最新式プラネタリウム投映などを通して、子どもたちに科学や宇宙を身近に感じる機会を創出します。また、夏休み期間中にはオープニング記念事業を開催します。

■夢と学びの科学体験館オープニング記念

- (1) 事業費 9,814 千円
- (2) 内容 米村でんじろうサイエンスショー、プラネタリウム特別上映及び運動企画

■夢と学びの科学体験館管理運営

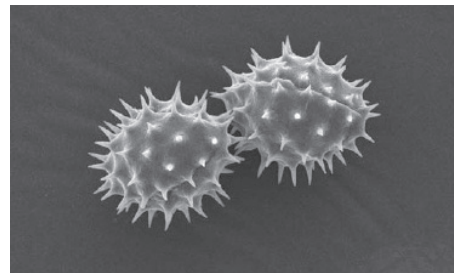
- (1) 事業費 44,561 千円
- (2) 内容 実験ラボ講座、サイエンスショー、簡単工作コーナーなど

■プラネタリウム管理運営

- (1) 事業費 11,686 千円
- (2) 内容 プラネタリウム教室(学習投映)など



夢と学びの科学体験館
HANDS-ON SCIENCE MUSEUM



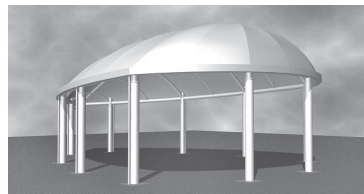
電子顕微鏡で見た花粉(コスモス)

交通児童遊園施設整備事業

69,754 千円

利用者の利便性と安全性の向上を図るため、噴水広場前にドーム型大型テント及び人工芝の設置などを行います。

- 噴水前エリア整備工事
- ドルフィンパラダイス前テント設置工事
- 移動販売車用コンセント盤設置工事
- 法面改修工事



ドーム型大型テント
(イメージ)

小学校大規模改造事業

390,197 千円

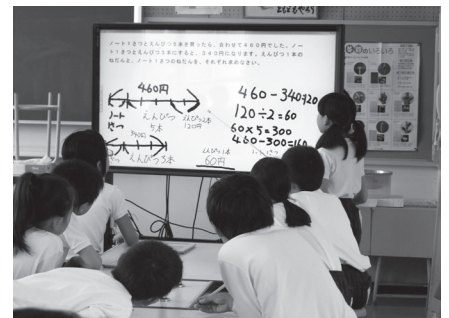
老朽化した校舎の機能を回復するため、大規模な改修を行います。

- 日高小学校 南校舎
 - (1) 事業費 350,613 千円
 - (2) 内外装、設備改修工事等
- 小垣江東小学校 北・南校舎
 - (1) 事業費 27,000 千円
 - (2) 改修工事設計
- 双葉小学校 南校舎
 - (1) 事業費 12,584 千円
 - (2) 改修工事設計

新 ICT 教育事業

5,918 千円

児童の学習課題への理解力を深めるとともに、表現力や多角的な見方・考え方を養うため、小学校15校に電子黒板を各1台導入します。



中学校大規模改造等事業

447,930 千円

老朽化した校舎の機能を回復するため、大規模な改修を行います。

- 刈谷東中学校 中・南校舎
 - (1) 事業費 68,000 千円
 - (2) 改築工事設計
- 富士松中学校 中校舎
 - (1) 事業費 379,271 千円
 - (2) 内外装、設備改修工事等
- 依佐美中学校 中校舎
 - (1) 事業費 659 千円
 - (2) 改修工事設計

確かな学力の定着と豊かな人間性の育成をめざし、家庭、地域との連携を深め、特色のある学校づくりを進めるとともに、学習する意欲と能力を養い、低年齢から生涯にわたって学習できる生涯学習都市づくりを進めます。

特別支援学校整備事業

42,000 千円

小垣江東小学校の校舎の一部を増改築し、肢体不自由に特化した特別支援学校を整備します。

■特別支援学校実施設計

第一学校給食センター建設事業

41,000 千円

安全な調理環境の維持・向上のため、老朽化した第一学校給食センターを小垣江東小学校敷地内へ移転新築します。

■第一学校給食センター実施設計

拡放課後子どもプラン事業

23,392 千円

放課後の児童の居場所づくりとして、専任スタッフを配置して遊びや学習、体験活動などを行う「放課後子ども教室」を開設します。

■開設場所

- 新規校 住吉・平成・東刈谷小学校
 継続校 亀城・小高原・日高・衣浦・富士松南・富士松北・富士松東・小垣江・双葉・朝日小学校

■開催日時 平日週1日（長期休業期間等を除く）
 授業終了後～午後4時30分



放課後子ども教室

刈谷偉人伝作成事業

4,867 千円

刈谷にゆかりのある偉人をPRし、郷土の歴史と文化を継承するため、偉人の歴史や活動を紹介する短編映像や紙芝居を作成します。

■刈谷偉人小伝

- (1)刈谷藩4代目藩主 松平定政
 (2)亀城尋常小学校本館等設計者 大中肇

■刈谷偉人伝紙芝居

過去の偉人伝から1作品を作成

企画展開催事業

74,100 千円

多くの市民に質の高い美術に触れる機会を提供し、文化の振興を図るため、著名な絵本作家やイラストレーターの作品などを紹介する美術展を開催します。

■宮西達也展

- (1)事業費 40,212千円
 (2)会期 4月25日～6月7日

■イエラ・マリ展

- (1)事業費 14,431千円
 (2)会期 7月18日～8月30日

■及川正通展

- (1)事業費 19,457千円
 (2)会期 9月19日～11月8日



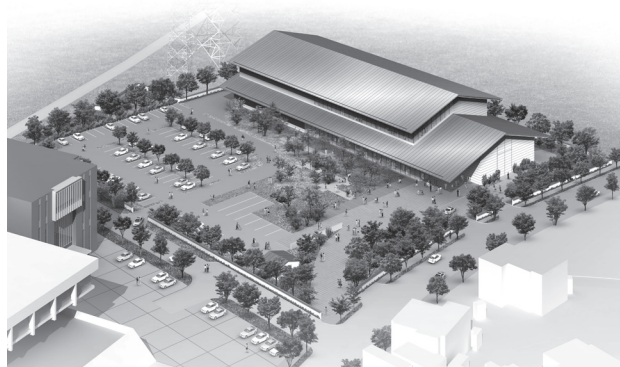
イエラ・マリ
 「りんごとちょう」
 1969年エンメ出版

歴史博物館建設事業

134,148 千円

刈谷の歴史資料や文化財を適切に保存・管理をするとともに、広く一般に公開するため、歴史博物館を建設します。

■歴史博物館実施設計



歴史博物館外観（イメージ）

支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

拡 わが家の地震対策事業

164,742 千円

耐震診断や耐震改修などに対して費用の補助を行い、住宅の耐震化を促進します。また、新たに避難道路沿道住宅の耐震診断・改修費の補助や、地区等と連携して行う耐震啓発活動の報償金制度を創設します。

■補助内容（ ）内は補助限度額

- (1) 木造住宅無料耐震診断
- (2) 木造住宅耐震改修費補助 (120 万円)
- (3) 木造住宅段階的耐震改修費補助
(1 段階目 60 万円、2 段階目 60 万円)
- (4) 木造住宅簡易耐震改修費補助 (30 万円)
- (5) 木造住宅取壊し費補助 (20 万円)
- (6) 木造住宅耐震シェルター設置費補助 (30 万円)
- (7) 非木造住宅耐震診断費補助
戸建 (8 万 6 千円)
戸建以外 (120 万円)
- (8) 非木造住宅耐震改修費補助
(対象経費の 3 分の 2)
- (9) ブロック塀等撤去費補助 (10 万円)
- (10) 緊急輸送道路等沿道建築物耐震診断費補助 (180 万円)
- (11) 緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修費等補助 (1,892 万円)
- (12) 避難道路沿道木造住宅耐震改修費補助 (140 万円) (新規)
- (13) 避難道路沿道非木造住宅耐震診断費補助 (新規)
戸建 (10 万円)
戸建以外 (140 万円)
- (14) 避難道路沿道非木造住宅耐震改修費補助 (600 万円) (新規)
- (15) 耐震啓発活動報償金 (新規)

拡 消防団充実強化事業

118,094 千円

消防団活動の充実強化を図るため、応急処置セット、エンジンカッター、チェーンソーなどの救助活動用資機材を消防団に配備し、大規模災害に備えます。また、出動手当の引上げにより消防団員の処遇改善を図ります。

- 消防団装備充実事業
事業費 50,000 千円
- 消防団運営事業
事業費 17,979 千円
- 衣浦東部広域連合分担事業
事業費 50,115 千円



拡 防犯対策推進事業

245,128 千円

犯罪発生を抑止し、まちの安全性を高め市民の不安の軽減を図るため、防犯上不安のある場所に防犯灯や防犯カメラを設置するとともに、青色回転灯を搭載した車両による夜間パトロールを 6 台に拡充します。

- 街頭防犯カメラ設置事業
事業費 122,962 千円
- 防犯カメラ設置補助事業
事業費 5,000 千円
- 地域防犯夜間巡回委託事業
事業費 56,766 千円
- 防犯灯設置事業
事業費 2,400 千円
- 防犯灯 L E D 化事業
事業費 58,000 千円



街頭防犯カメラ

橋りょう補強事業

17,330 千円

地震発生後に市民が安全に避難所に避難できる経路を確保するため、避難道路に架かる橋りょうの耐震補強工事を行います。

- 橋りょう耐震補強実施設計
司町元刈谷橋はじめ 6 橋
- 橋りょう耐震補強工事
一ツ木町帆落田橋はじめ 2 橋

行政と市民、事業者、大学などが協力・連携し、より良い保健・福祉サービスの維持・向上を図るとともに、災害や犯罪、交通事故などに対する安全性を高めることにより、みんなで支えあいながら、住みなれた地域で心豊かに安心して暮らせるまちづくりを進めます。

新 成年後見支援事業

15,177 千円

判断能力が不十分な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等の権利を擁護するために、成年後見制度に関する相談等の窓口を設けます。



幼稚園園舎改修事業

273,917 千円

安全で良好な保育環境を維持するとともに施設の延命を図るため、老朽化した双葉幼稚園、日高幼稚園、東刈谷幼稚園、小垣江東幼稚園の園舎の大規模改造を行います。

- 日高幼稚園
 - (1) 事業費 254,601 千円
 - (2) 大規模改造工事
- 双葉幼稚園、東刈谷幼稚園、小垣江東幼稚園
 - (1) 事業費 19,316 千円
 - (2) 大規模改造実施設計

保育園園舎改築事業

887,930 千円

保育環境の改善と安全性を向上させるため、老朽化した富士松北保育園とさくら保育園の園舎を改築します。また、定員を拡大することで待機児童の解消を図ります。

- さくら保育園
 - (1) 事業費 846,930 千円
 - (2) 園舎移転新築工事
- 富士松北保育園
 - (1) 事業費 41,000 千円
 - (2) 園舎建設実施設計

拡 民間保育所運営支援事業

879,327 千円

民間保育所の運営経費や 27 年度に建設される民間保育園に対して建設経費を補助します。



拡 認可外保育所利用補助事業

27,724 千円

認可外保育所へ通う児童の保護者負担の軽減のため、3歳未満の児童の利用料補助に加え、小学校入学前から数えて第2子に該当する児童の利用料補助を拡充します。

新 子育てコンシェルジュ事業

5,753 千円

子どもやその保護者が、多様な教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるように、子育て支援センター、幼稚園、保育園等に「子育てコンシェルジュ」を配置し、子育てに関する情報提供や必要に応じた相談・助言、関係機関との連絡調整等を行います。



拡 高齢者予防接種事業

98,061 千円

高齢者の肺炎球菌による肺炎の予防及び重症化を防ぐため、肺炎球菌予防接種（任意）費用助成の対象年齢について、これまで75歳以上だったものを65歳以上に拡大します。



拡 がん検診事業

255,032 千円

がんの早期発見・治療のため、がん死亡率の上位である肺がんについて、これまでの40歳から69歳までであった対象年齢の上限を74歳まで拡大します。

拡 健康診査事業

36,112 千円

40歳以前の若い世代のむし歯や歯周病の予防を図るため、これまでの30歳及び40歳から75歳までの5歳間隔の対象年齢に35歳を加え、対象年齢を拡大します。

人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり

ものづくりによって培ってきた高い技術と能力の蓄積を有効にいかしつつ、農業、商業、工業とバランスの取れた産業の振興を図り、誰もが笑顔で働き続けることのできる賑わいのある明るいまちづくりを進めます。

新 刈谷ハイブリッドアグリ奨励事業

6,000 千円

農業者の高齢化、後継者不足、地域特産物の衰退など、農業を取り巻く課題解決のため、農業者団体により選定された新規就農者が、企業OBなどを活用し、地域特産物を栽培するという新たな取組に対して奨励金を交付します。



新 高校生コマ大戦協賛事業

150 千円

高校生が自ら制作したコマを用いて競う「高校生コマ大戦」を通じて、ものづくりのまち刈谷をアピールし、人材育成や雇用促進を図るため、「第3回全国高校生コマ大戦」の成績優秀校に刈谷市長賞等を授与します。



新 広域観光情報システム推進事業

723 千円

ホームページで選択した複数の目的地から、最適ルートを作成及び所要時間・距離の自動計算を行うとともに、ルート周辺の観光スポットを案内し、スマートフォンにも表示することのできる地域クラウド型サービスを西三河の自治体で共同導入します。

拡 産業立地促進補助事業

300,000 千円

市内企業の流出防止、市外企業の誘致、雇用の維持拡大等を図るため、企業の設備投資や新たに土地を取得等して工場等の新增設に係る費用の一部を補助します。

市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

市民と行政の双方向によるまちの環境を整備することにより、市民と行政の信頼関係を深め、豊かで魅力あるまちの実現に向けて協働できるまちづくりを進めます。

新 まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業

7,150 千円

まち・ひと・しごと創生法に基づき、少子高齢化の課題に対応し、地域における住み良い生活環境を確保するため、(仮称)刈谷市版総合戦略を策定します。

新 公共施設等総合管理計画策定事業

6,545 千円

学校、市営住宅等の公共建築物や道路、河川、公園等のインフラ施設の状態を把握し、総合的かつ計画的な管理を行うため、公共施設全体を取りまとめた公共施設等総合管理計画を策定します。

新 個人番号通知・個人番号カード交付事業

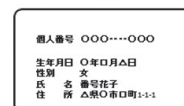
71,596 千円

社会保障・税番号制度の開始に伴い、その基盤となる個人番号の指定・通知及び個人番号カードの交付を行います。

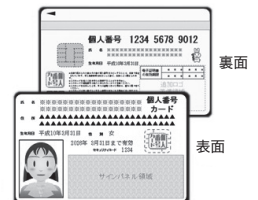
■通知カード送付(全市民対象)平成27年10月から

■個人番号カード交付(申請者対象)平成28年1月から

通知カード(イメージ)



個人番号カード(イメージ)



マイナンバーキャラクター
愛称: マイナちゃん



市制施行65周年記念事業

「歴史と未来が輝くまち かりや」をキャッチフレーズとして、市民の皆様と共に未来に向かって本市が一層発展できるように様々な事業、イベントを実施します。

新 結婚お祝い事業

2,400 千円

刈谷市の魅力発信と定住促進を図るため、婚姻届を提出された夫婦の記念撮影を行うとともに、メッセージカード、フォトフレームを結婚記念品として贈呈します。



新 第九交響曲演奏会開催補助事業

2,500 千円

市民による創作活動の機会を創出するため、公募による合唱団と市民を中心としたオーケストラによる第九交響曲の演奏会の開催を支援します。

新 刈谷サッカーフェスティバル開催事業

3,000 千円

サッカー元日本代表選手を招聘し、サッカー教室やフレンドリーマッチなどで直接触れ合うことにより、子どもたちの夢や憧れを育みます。

拡 文化振興事業

8,712 千円

市民の芸術文化意識の向上を図るため、日本トップクラスのオーケストラ楽団であるNHK交響楽団によるコンサートを開催します。

チビッコ甲冑行列開催事業

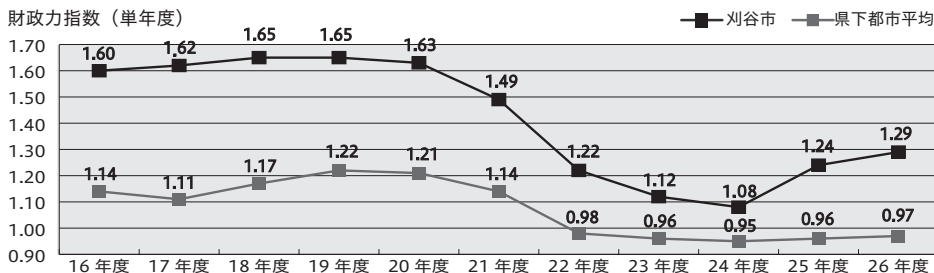
3,780 千円

次代を担う子どもたちに郷土の歴史や文化を伝承するため、甲冑製作を通して刈谷の歴史を学び、郷土への誇りと愛着を育みます。

主な財政指標の推移

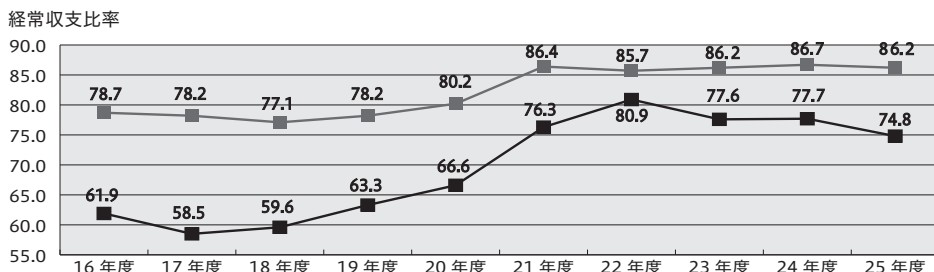
(1) 財政力指数

地方公共団体の財政上の能力を示す指数で、1を超えるほど財政に余裕があります。



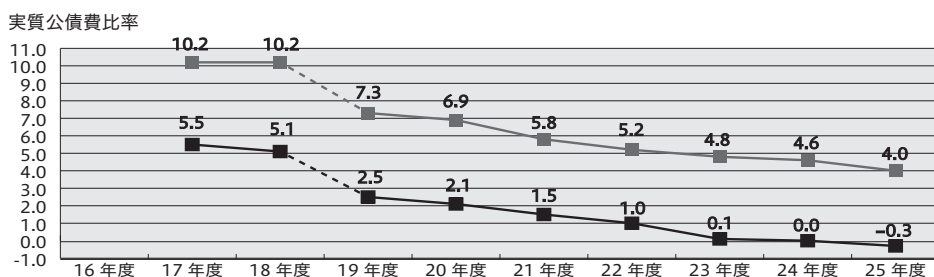
(2) 経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾力性を測る指標で、人件費、扶助費、公債費などの経常的経費に市税などの一般財源がどの程度充てられているかをみるもので、この比率が増加すると財政運営は硬直化します。



(3) 実質公債費比率

一般会計や特別会計、企業会計の公債費に広域連合や一部事務組合における公債費を加えた実質的な公債費が、財政に及ぼす負担割合を直近の決算年度を含めた3年平均で表した指標で、この比率が低いほど財政が健全であるといえます。



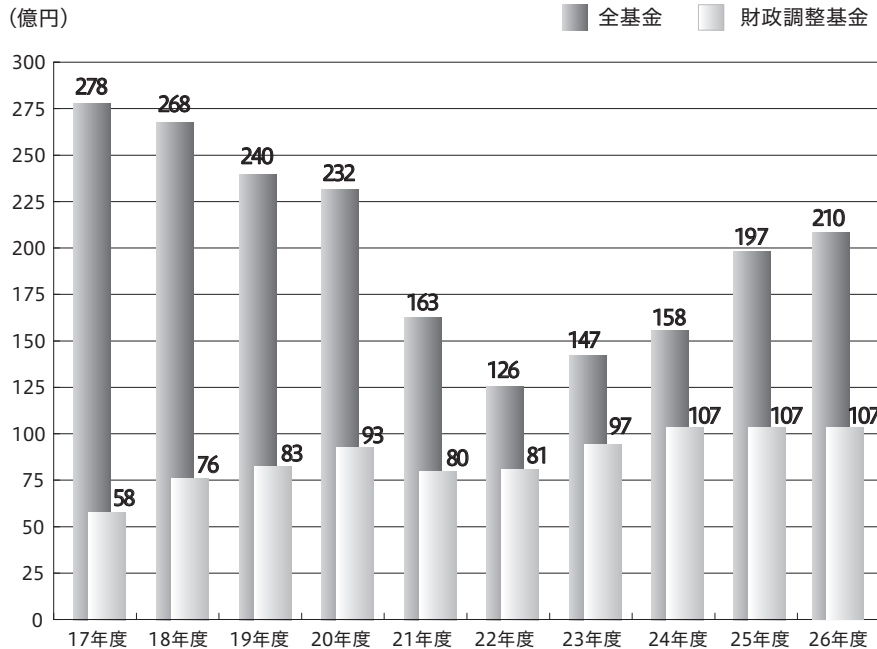
※平成19年度以降は、財政健全化法に基づく算定による数値です。

基金の状況

基金の現在高は、平成 27 年 3 月 31 日現在で、約 210 億円です。その内訳は、財政調整基金（約 107 億円）、公共施設維持保全基金（約 55 億 1,700 万円）、亀城公園等整備基金（約 25 億 4,100 万円）が主なものです。

基金現在高の推移

(億円)



(単位：百万円)

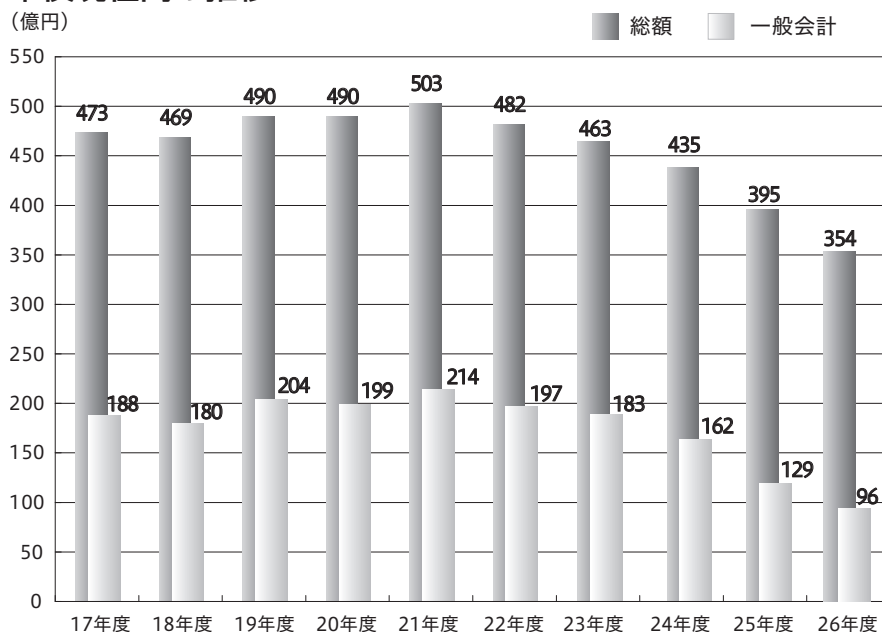
基金名	金額
財政調整基金	10,700
土地開発基金	445
国際交流振興基金	226
美術品等購入基金	590
地域福祉基金	275
国民健康保険基金	267
介護保険基金	52
緑化推進基金	321
市民活動支援基金	16
亀城公園等整備基金	2,541
公共施設維持保全基金	5,517
一般旅券収入印紙購入基金	10
合計	20,960

市債の状況

市債の現在高は、平成 26 年度末現在（見込み）で、約 353 億 5,700 万円です。そのうち、一般会計は、約 95 億 6,500 万円で 27.1%を占めています。特別会計では、下水道整備の進展により下水道事業会計が大きな割合を占めています。

市債現在高の推移

(億円)



(単位：百万円)

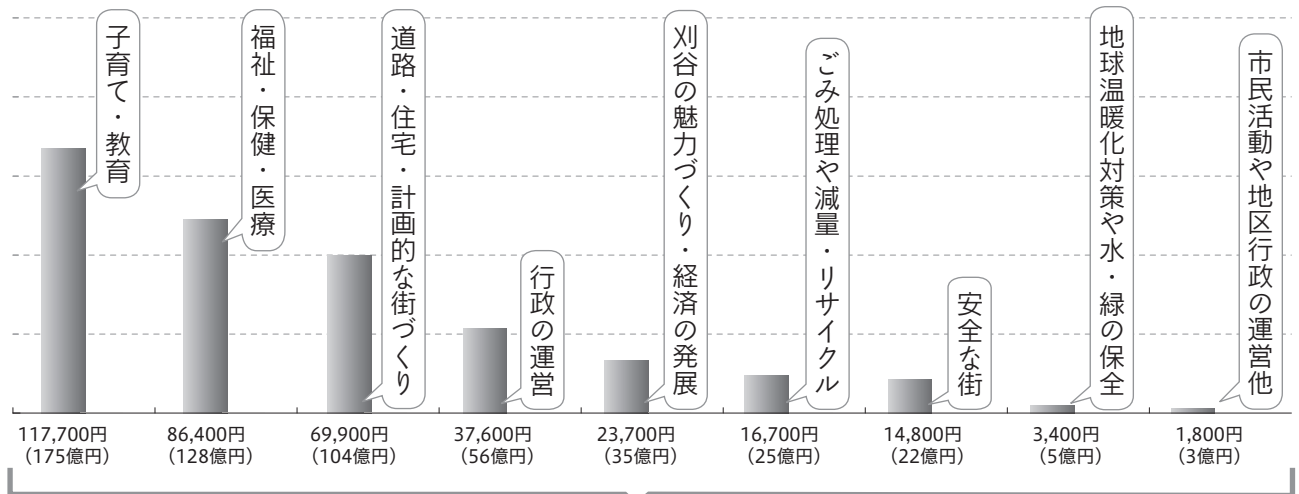
会計名	金額
一般会計	9,565
特別会計	24,248
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	456
下水道事業会計	23,792
企業会計	1,544
水道事業会計	1,544
合計	35,357

市民1人当たりの予算（用途別）

刈谷市の平成27年度予算総額553億3,000万円を、市民1人当たり（平成27年1月1日現在の人口148,589人）に換算すると372,000円となります。これは、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな目的の用途に使用されています。用途の中で最も多いものが、子育て・教育分野で117,700円、次に福祉・保健・医療分野に86,400円、そして道路・住宅・計画的な街づくり分野に69,900円の順となっています。なお、金額は、端数を調整しています。

一般会計用途別支出

（ ）内は当初予算額



市民1人当たりに使われる予算額 **372,000**円 一般会計予算額 **553**億**3,000**万円

刈谷市の家計簿

刈谷市の平成27年度一般会計当初予算を、年収500万円（月収41万6,000円）のご家庭に例えて、1カ月の家計簿を作成しました。

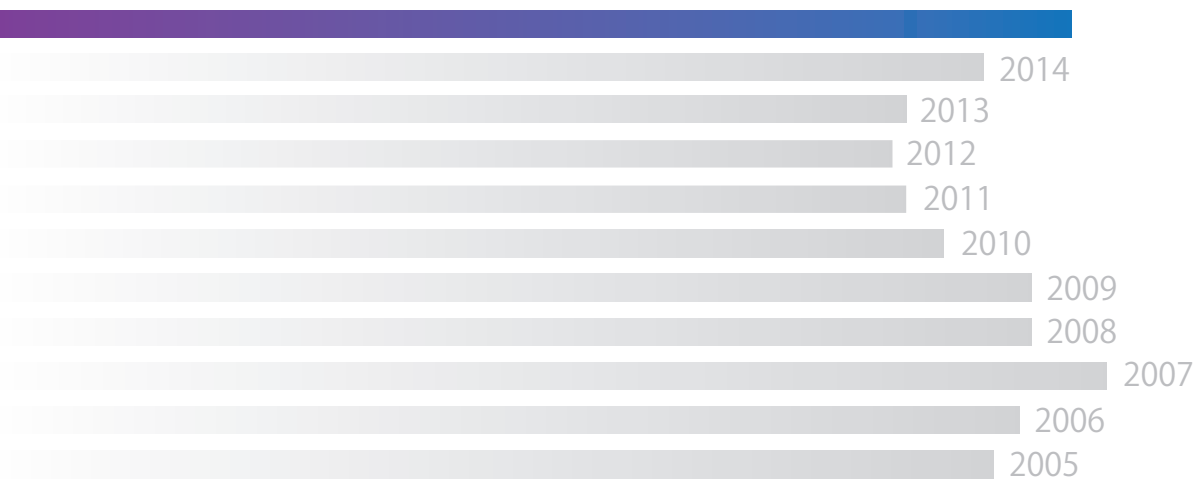
刈谷市の1カ月の家計簿

収入		支出	
給与	293,000円	食費（人件費）	59,000円
基本給（市税）	265,000円	医療費・保育料等（扶助費）	90,000円
諸手当（地方譲与税、県税交付金等）	28,000円	家のローン返済（公債費）	13,000円
家の修繕代の助成金、奨学金等（国県支出金）	63,000円	家財道具の買い替え・家の修繕費等（施設等整備費・維持補修費）	92,000円
パート収入、家財の売却による収入等（使用料、手数料、財産収入、繰入金、諸収入）	54,000円	光熱水費・日用品・教育費等（行政運営費）	122,000円
家の修繕や車の買い替えのための銀行からの借金（市債）	6,000円	一人暮らしの家族への仕送り（繰出金）	40,000円
合計	416,000円	合計	416,000円

毎月の光熱水費や医療費に多くのお金がかかっています。家族の医療費（高齢者・児童福祉などの扶助費）、ローンの返済（公債費）、食費（人件費）の3つは、「義務的経費」と呼ばれています。この「義務的経費」が多いことは、一般家庭のエンゲル係数（家計における食費の占める割合）が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。刈谷市の歳出総額に占める義務的経費の割合は約4割であり、県内市町村の平均割合約5割と比較すると低く、健全な財政であることを示しています。

刈谷市はローンを13,000円返済する一方、新たな借り入れは6,000円に抑え、借金残高を減らす努力をしています。

OUTLINE OF BUDGET 2015



- この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。
- この印刷物はAランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。